

第83号 秋号 発行月：令和6年11月

四天王寺和らぎ苑 季刊誌

和らぎ苑



入所フロア ご利用者 作品 テーマ『花火』

もくじ

- 1 支援部長からのご挨拶
- 2 取り組み NOW!
- 3 お知らせ
- 4 和敬の集い
- 5 入所フロアの日常

ご挨拶



支援部長 堤 智一

皆さまにはおかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

秋は、四季の第三の季節で日本では、9月、10月、11月をいいます。しかし、今年の夏は昨年以上に残暑が厳しく、11月に入りやっと朝夕涼しくなってきました。紅葉など自然の美しさもこれから本格的に楽しめる事と思います。

さて今年はスポーツ界が世間で大きな話題になりました。7月から9月にかけてパリでオリンピック、パラリンピックが開催され、ボッチャでは、井上理学療法士が監督として選手を陰で支え、火ノ玉ジャパン チーム BC-1-2 で銅メダルを獲得、日本勢の活躍が目覚ましく、世界に名を轟かし大変盛り上がりました。そして世界で活躍といえば記憶に新しいのは、メジャーリーグベースボール（以下 MLB 略）での大谷翔平選手の活躍ではないでしょうか。

2018年にMLBでピッチャーとバッターの「二刀流」としてデビューし数々のタイトルを獲得する活躍に始まり、今年は大谷選手の夢であったワールドシリーズに出場するという夢を叶えるため所属チームを変えました。そして1年目で今まで不可能といわれ続けた前人未達の「50-50 達成」、ワールドシリーズ優勝という漫画でも描けないようなサクセスストーリーと成績で多くの人を魅了しました。

和らぎ苑のご利用者も昨年度、作業療法で取り組まれたアート活動が芸術家の方に評価を受け展示会に出展されました。重度の障がいのある方が描かれる「一つの点は芸術の原点」と多くの方から反響があり、その作品は現在、富田林市にある「すばるホール」、四天王寺大学学園祭での展示など「地域」と繋がっています。

この展開は私たち職員、誰も予想していませんでした。

改めて考えると年齢を重ねるにつれ、私たちは普段の生活の中で勝手に「出来ないだろう」と諦めている事が多く新しい挑戦にも躊躇している事があるように思います。

しかし、大谷選手の活躍や和らぎ苑のご利用者の皆さんから学んだことは「出来ないだろう」ではなく目標を持ち続ける事や挑戦する事で何かが変わるという事でした。

これからもご利用者を支援するなかで、和らぎ苑の強みである多職種連携から多くの事に挑戦し経験を一緒に積み重ねていきたいと思えます。皆さんの人生の応援団として、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

日光浴

取組 NO

今年度より入所フロアでは、ご利用者の骨折予防に努め、その対策のひとつとして、コロナ禍以前まではフロアの習慣として行っていたベランダでの日光浴活動を再開いたしました。

のんびりと日向ぼっこや、お茶、散歩を楽しむなど、短時間でもベランダや苑外へ出ることに努め、太陽光を浴びての活動を行っています。ご利用者皆様に穏やかな表情や笑顔が多く見られています。継続して行い、骨折予防にも努めます。

＼素肌に日光を当てます☀／



＼晴れた日のベランダは気持ちいい♪／

お知らせ

職員の制服が変わりました！



看護師



歯科衛生士



薬剤師・ME
放射線技師



調理・栄養



支援員



サポーター



エイド



相談員

11月から職員の制服が新しくなりました。制服の色により、職種がわかるようになっています。これにより、ご利用者、来苑の皆様にとって、スムーズに声をかけて頂くことができますようになります。また、職種に関わらず、なんでもお声かけ頂ければと思います。

和敬の集い



令和6年9月14日、四天王寺和らぎ苑1階にて『和敬の集い』を開催いたしました。60歳以上のご利用者をお祝いする行事として今年で6年目を迎えました。コロナウィルスの影響で昨年までは2部制でしたが、今年は各階のご利用者、ご家族ともにお祝いすることができ、心より嬉しく思います。式典では堤支援部長の挨拶を始まりに、ご利用者の紹介の後、記念品として名前の刺繍入りタオルを贈呈させていただきました。そしてご利用者の日常の中の様々な思い出を映像で振り返り、晴れ着姿で記念写真を撮りました。

これからも健康で元気に毎日を過ごせるよう職員一同、支援してまいります。



入所フロアの日常「午後のレクリエーション」



ご利用者の表現活動（絵画）というレクリエーションを行っています。ご利用者が、思い思いに色を選び様々なキャンパスに描かれています。個々に応じた道具を使用し、それぞれの動きがそのままキャンパスに反映されます。おひとりの作品や複数人合同の作品など、皆さまの感性が「表現」の絵になります。

私たち職員は最終的に「どのような作品になっていくのか？」を楽しみに「表現活動」をお手伝いさせていただきます。

どんな状況で実施しているかは、またご機会があれば見ていってください。



発行者：四天王寺和らぎ苑広報委員会

ホームページ

[四天王寺和らぎ苑](#)

〒584-0082 富田林市向陽台 1-3-21

Tel : 0721-29-0836(代) Fax : 0721-29-3916

